

なかしゅんべつ

2011
12
No.407



目次

豊原酪農振興会設立50周年…	2	営農対策情報……………	11
青年部のページ……………	3~5	農業者年金……………	12~13
女性部のページ……………	6	同志会通信……………	14
同志会視察……………	7	生乳情報……………	17
試験圃場の取組み……………	8~9	年末・年始の業務日程……………	20
わが家のアイドル……………	10	理事会の動き……………	19

今月のアイドルは中春別地区の小幡さんです。
動物が大好きな3兄妹取材しました。

節目の
50
年

豊原酪農 振興会

仲間と助け合い、ともに 知恵と汗と涙で切り開く

豊原酪農振興会（伊藤一吉会長）では、去る11月25日に旧豊原小学校体育館において、豊原酪農振興会設立50周年記念式典を開催しました。



開会にあたり伊藤会長より50年の歩みとして、昭和31年、根釧原野に機械開拓による「根釧パイロットファーム」として、この地の開拓の歴史から始まり、現在の振興会としての事業活動が報告されました。

続いて歴代振興会会長に感謝状の贈呈が行われ、贈呈者を代表して14代会長の渡辺奎一氏より謝辞が述べられました。その後、来賓の中春別農業協同組合代表理事組合長・小湊保氏、中春別酪農対策協議会会長・望月英彦氏より祝辞をいただき祝宴に入りました。

また、記念講演として、根釧パイロットファーム開拓資料館管理運営委員会委員長・青野春樹氏より、入植か



らの歴史をスライドにより紹介されました。

50年の歩み

昭和31年、根釧原野に機械開拓による「根釧パイロットファーム」として、この地の開拓の歴史が始まりました。全道はもとより全国から心に燃え、理想の酪農郷を築くべく、多くの人たちが

が入植されました。

昭和37年、当時パイロットファームは、生産も低く負債が累積し「曲がり角に来たパイロット」と報道されるほど厳しい状態でした。その厳しさから脱却し、少しでも自らの経営を立て直そうと床丹第二の各地区で酪農研究会が発足されました。それらの研究会が、それぞれ活動していましたが、目指す目的は同じであり連合して活動した方が合理的との声が上がリ、広く話し合いの場をつくり、生活の安定のため、農協の健全化を図る目的で、昭和38年1月17日に約70人の同志が参集し、「床二酪農振興同志会」として発会式の運びとなりました。初代会長には妻沼忠一氏が選ばれ、翌39年の総会で「酪農振興会」として改め、46年には町制が施行され地区名も豊原に変更さ

れたことから、

「豊原酪農振興会」と名称を改め現在に至っています。振興会事業としましては、その時々要望にこたえるべく、酪農経営の生産向上と生活の安定を図るため、会員相互の研究を通し、親睦と意志の結集を図ることを目的とし、中春別農協や中春別酪農対策協議会及び各関係機関と連携を取りながら、会員の意志機関としての役割を担い、農政活動のための意見集約及び情報伝達、酪農経営技術の向上とその対策のための講習会、視察研修、乳質改善等、情報交換の場としても活動を展開しています。

歴代会長感謝状贈呈者

- 14代 渡辺 奎一
平成元年～平成3年
- 15代 中村與之進
平成4年～平成5年
- 16代 眞下 順一
平成6年～平成8年
- 17代 広沼 英次
平成9年～平成10年
- 18代 望月 英彦
平成11年～平成15年
- 19代 齋藤 洋
平成16年～平成21年

各施設を訪問・視察し 知識を養う有意義な研修

青年部(金子琢哉部長)では、平成23年度視察研修会を10月24日(月)～26日(水)の期間において、青年部員9人の参加のもと開催いたしました。

●ホクレン畜産技術研究所 研究所の概要、施設並びに研究内容

1日目は訓子府にありますホクレン畜産技術研究所を視察に行き、担当の技術開発課課長 清水勲氏、土井

敬太研究員より研究所の概要、施設並びに研究内容を説明を受け、施設内の見学をさせていただきました。

研究内容では、チ

青年部視察研修会

モシーとリードの食いこみの調査をしているところ、視察をしたときは5日目という事もあり、まだはつきりした結果は出ていなかったのですが、少しづつリードの食いが悪くなっているとのことでした。

育成、乾乳牛舎などの牛群管理では全体的に牛の密度を下げ、ストレスのないように管理さ

れており、また牛舎内へのガラス侵入防止のため網が張り巡らせていました。

2日目は江別市にあります太陽光発電システムを導入した関ファーム、札幌市にありますアサヒビール工場の視察をいたしました。

●関ファームの 太陽光発電システム

関ファームでは、飼養頭数66頭(内経産牛33頭、育成牛25頭、和牛8頭)年間出荷乳量は261トンの経営をしております。タイストール牛舎では分娩房、監視カメラなどもあり事故防止に備えていました。また木造牛舎(カラマツ材使用)とのことで夏は涼しく、冬は断熱材も入れているので快適な環境を保っているとのことでした。

今年5月より導入した太陽光発電システムは、導入費900万円で20kwのパ

ネルを160枚設置し、年間発電量は約2万kw。売価は1kw45円で契約をしているとのこと、償却予想期間は9～10年とのことでしたが、メーカー保証が10年あるのでパネルの損傷などによる経費が償却期間内にはかからないとのことでした。

●アサヒビール 仕込みから出荷まで

次にアサヒビール工場では、仕込みから出荷までの行程を説明していただきました。どのラインでも衛生管理を厳重に行っており、エコ対策として自家発電以外の電力にはグリーン電力を使用しているとのことでした。また、工場内全職員の制服には資源循環とのこと、制服1着につきペットボトル5本を使い作っているとのことでした。

夜には懇親会を開催し部員同士の交流を深め、両日とも有意義な視察研修



になったのではないでしょう
うか?

Moving it 今からできる「じつ」を始めよう

根室地区JA青年部大会並びに北海道農協青年部協議会創立60周年記念式典

11月4日(金)にJA根室地区青年部連絡協議会主催による根室地区青年部大会が、中標津町寿宴にて開催され、当農協青年部(金子琢哉部長)から11人の部員が参加いたしました。



今、青年部に求められていることは次世代の担い手とし、自覚を持ち、議論を重ね、未来に向けて行動していくことが大事であり、今年度は Moving it からできることを始めようを大会テーマにし、今

るための相互研鑽を図る機会と位置付けし、開催されました。

大会ではJA計根別青年部・中村正博氏による活動実績発表が行われました。テーマは青年部活動の一端の一つ、お歳暮事業についてで、本年度の意気込み等、消費拡大への強い思いが発表されました。

地区大会が終わり、続いて60周年記念基調講演が開催されました。元JA北海道青年部協議会会長並びに元全国農協青年組織協議会副会長でありました平和男氏を講師に招き、「愛する者の笑顔のために」ことなき世をおもしろく、わが青春の青年部」と題しまして、これまでの経歴から体験談を講演していただきました。その中で会長を務めていた時期に大切なものが3つあるとのこと。「1つは青年部一人一人が自ら活動してい



くこと。2つ目が活動するにあたり楽しんでできるようにすること。3つ目が失敗を活かし、より良いものを創造していくことが大切である」と述べられました。

講演が終わり式典、祝賀会へと移り、地区青協歴代会長への感謝状贈呈をし、小湊組合長(根室地区酪農対策協議会会長)の乾杯の挨拶で祝宴に入りました。祝賀会ではアームレスリング大会が行われ、当青年部からは野矢貴志理事が参加いたしました。続いて、全道大会に出場する長沼徹部員の青年の歌「君と」を壇上より披露していただきました。最後に第30代地区青協会長でありました、原内 修氏の万歳三唱にて閉会いたしました。

1次会では、普段あまり交流のないもの同士という



事もあり、話題が絶えず、あつという間に1次会が終わり、和気あいあいのもとの2次会会場へ。

2次会では、お酒も回りプライベートな話も交えながら話に華を咲かせていきました。中にはカラオケで盛り上げていただいた方も多数おりました。1次会・2次会を通し、終始笑いの絶えない交流会になりました。今回の交流会を通し職員、青年部員の関係がより良いものになったのではと思います。参加されました職員、青年部員の皆さんお疲れさまでした。

笑いとお話がつきず、アツという間の交流会でした

女性職員との交流会

青年部(金子琢哉部長)では、11月18日(金)に毎年行っております、女性職員との交流会を31人の参加者のもと開催いたしました。



農水省生産局畜産部との 意見交換会を実施



青年部(金子琢哉部長)では、部員8人参加のもと、11月10日(木)に農水省生産局畜産部との意見交換会を実施いたしました。

青年部では、2年に1度農水省との意見交換会を行っており、今回初めて参加される方もいました。

当日は農水省より昨今の酪農情勢について、平成24年度予算概算要求について説明をいただき、意見交換会に移りました。

意見交換会は松井副部長の仕切りで行われ、●労働力の確保及び労働力の低下に伴う育成預託への支援策について●酪農環境負荷軽減支援事業の参加要件の緩和について●草地整備や糞尿処理施設への支援策についてなど部員ひとり一人が普段、現場で思っていることを述べてきました。

短い時間での意見交換会でしたが、地域の担い手としての意見を伝えることは昨今の酪農情勢の中では、重要なものだと考えており、今後とも積極的に取り組んでいただきたいと思います。

(参加者)

部長	金子 琢哉
副部長	松井 和孝
理事	片野 大介
理事	野矢 貴志
理事	千葉 悟
理事	小西 祐司
監事	藤倉 香津靖
監事	相澤 孝太
事務局	相澤係長、河合

計10人

法人道税・事業税・地方法人税の申告は便利なeLTAXで!

eLTAX(エルタックス=地方税の電子申告)には、次のようなメリットがあります。

- インターネットで自宅やオフィスから申告ができます。
- 複数の地方公共団体に対する申告をまとめてできます。
- 利用者用のソフトで自動入力・自動計算など申告書作成をサポートします。
- eLTAXに対応した市販の会計ソフトからの送信も可能です。

eLTAXの詳しい情報については次をご覧ください。

- ・eLTAXホームページ <http://www.eltax.jp/>
 - ・北海道 総務部 財政局 税務課ホームページ
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zim/dshinkoku/index.htm>
- 申告が便利なeLTAXを是非ご利用ください。

手作り仕事着のファッションショー

全道女性リーダー研修会・北海道家の光大会

11月10日から11日にかけてJ A北海道女性協議会主催、全道女性リーダー研修会・北海道家の光大会がホテル・シャトレレーゼ・ガトーキングダムサツポロにおいて開催され、当農協女性部から畠山友子部長、斉藤道子副部長が出席いたしました。



1日目には、家の光記事活用体験発表が行われ、書類選考で選ばれた上位3人がスライドを使い発表されました。当農協からは山崎希代子さんが優良賞を受賞しております。また、農業ファッションショーが行われ、モデルが音楽に合わせて会場を歩き、帽子や防水エプロンなどの手作り品

や作業服のアレンジした点が説明されるなど普段の仕事着を披露しました。

2日目には工夫展が開催され、写真立てやエコバック、腕抜きや漬物など様々な作品が並ぶ横で作成者と直接話すことができ、前日に開催されたファッションショーの作品もゆつくりと見る事ができました。全道各地の部員と交流できた研修となり、仲良く



なった部員同士また会う約束をして家路に帰りました。

砂糖の力で 肌にハリと潤いを

フレッシュミセス部会 シュクレ講習会

11月15日(火)、アビサル・ジャパン株式会社眞理さんを講師に招き、北海道産の甜菜を使ったお砂糖のスキンケア商品「シュクレ」の講習会を開催しました。



教えてもらったりと楽しい時間が過ぎていき、有意義な時間を過ごせました。



講習会内容は、娘さんのアトピーを改善するために研究され開発された、シュクレを使用したスキンケア

のお話。お砂糖が肌にいい理由と、北海道産の甜菜糖にこだわった理由の説明後、実際に自分の肌で体験してもらいました。使用方法は簡単で少量を手にとって濡れた肌にかかるくなじませるだけ！

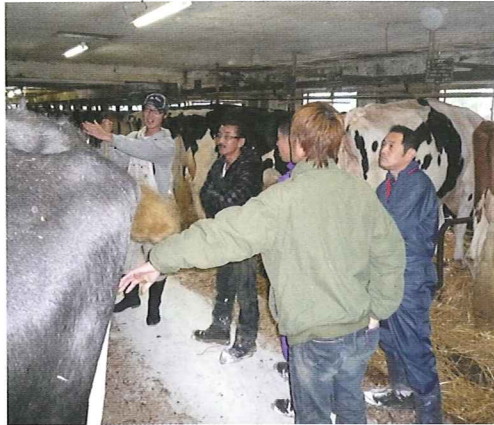
煮豆のようにお砂糖の成分で肌が柔らかくなり、ハリと潤いを与えてくれます。

昼食では、講師を交えて交流会を行いました。アビサルジャパンで開発されたメイク道具の使い方を

視察先の牧場はアイディア・管理がされ、 今後の営農技術の向上につながる有意義なもの

今年度の視察は10月25日(火)から26日(水)の2日間、会員8人と事務局合わせて9人で2日間視察に行ってきました。

1日目は十勝管内上士幌町の吉田牧場と小椋牧場の訪問、2日目はテレビで評判のタカトシ(むらかみ)牧場(恵庭市、村上牧場)と千歳市の北海道箱根牧場(千歳市)を視察しました。



1日目、最初は吉田智貴牧場の視察で、90頭飼養できるところでした。

牛舎内にはEX牛など素晴らしい牛がつかわれ、今後、自分の目標になるような牛舎内でした。自動給餌機やミルクカーのレールなど仕事のしやすさも考慮されていたところが印象的でした。

吉田さんは、一昨年視察しました遠軽町の山口牧場の牛舎を参考にして建てた牛舎だとおっしゃっていました。山口さんの牛舎も給餌機やレールが装備されていました。吉田さんは更に幅を広げていて、ストールの上でチェーンブロックを使用できるように工夫されていました。

次に吉田牧場から車で10分程の小椋淳一牧場に移動しました。

小椋牧場では日本で初めて体格審査で3歳89点の牛

を含め、EX牛や有名なファミリーの牛たちがつかわれていました。

牛舎は増築されていますが、とてもきれいで毛刈りもしてあり牛が見やすく管理されていました。また、中には独房も4カ所あり非常に手間がかけられ、見本になるような牛群管理をされています。

上士幌町では平均乳量が1万キロ以上で、ショーでも上位に入り込む有名な牧場が視察でき、勉強になったとともに自分でも今からできるアイデアや、管理がなされていてこれからの営農技術の向上につながる有意義なものでした。

2日目はタカトシ牧場に観光をし、買い物をしてきました。その後、箱根牧場のレストランにて昼食、帰路に着きました。普段見ることのない観光牧場に行ってみて、これからの展開も考えることもできました。

また、同志会会員の皆さんとも道中、笑いながら過ごせたこともとても有意義でした。

久保 光大

良質粗飼料確保に向けた 試験圃場の取組みについて

配合飼料価格の高止まり状態が続く中、いかに自給飼料の栄養価を高め、配合飼料の購入費を下げるのが経営向上には重要となつてきます。地域内の草地の植生を見ても雑草が大半を占めるなど、栄養価の高い粗飼料確保には課題が多くあります。植生改善には草地更新が効果的ですが、当農協の更新率も近年3%前後と低く、公共事業も削減され自家更新費用を下げることも更新率を上げる対策のひとつだと思われま

す。このような状況の中、本年度の事業計画では最重要取組み事項として、飼料自給を根幹とした栄養価の高い牧草の安定生産と、良質粗飼料確保に向け、新品種のアルフアルファ（ハルワカバ）に係る越冬性・永続性・植生状況・成分調査、また、完全耕起と簡易更新（表層攪拌）による発芽、植生等に係る実証事業を3年間（H23～H25）行うことにしました。

今年度は、農協（良質粗飼料生産利用対策委員会）（西川寛稔委員長）・購買課・営農振興課）、ホクレン、普及センターなど関係機関と連携した取組みにより、中春別地区の小原牧場と共和牧場の2圃場を選定し、試験前の土壌調査・植生調査・収量調査を行った後、圃場毎に完全更新と簡易更新を行い新品種アルファ（ハルワカバ）を播種し、発芽状況などの違いを確認いたしました。

なお、今年度の実証事業につきまして次のとおり報告いたします。

<土壌分析結果> (4月20日 土壌採取実施)

		PH	P	K	Mg	石灰
小原牧場	分析値	5.6	59	20	42	153
	基準値	6.5	20以上	15～20	25以上	350以上
共和牧場	分析値	5.7	16.2	15	27	164
	基準値	6.5	20以上	15～20	25以上	350以上

<植生調査結果> (6月8日 植生調査実施) (6月20日 収量調査実施)

圃場	裸地	植生					生収量	乾物収量	チモシー草丈
		チモシー	シバムギ	リード	ケンタッキー	白クローバ			
小原牧場	10%	15%	40%	13%	7%	15%	2,740kg	502kg	97.3cm
	裸地	チモシー	シバムギ	リード	ケンタッキー	オーチャード	生収量	乾物収量	チモシー草丈
共和牧場	18%	10%	15%	35%	10%	12%	1,055kg	226kg	76.7cm

<生育状況調査結果>

(10月4日 越冬前の生育状況調査実施)

・チモシーの株数による越冬判断(0.3m×0.2mの枠内に30株以上)

	測定値	判定
完全更新チモシー主体草地	39.4株	○
完全更新ルーサン主体草地	30.8株	○
簡易更新チモシー主体草地	18.0株	×

完全更新の1ha当り費用(税込み)
ルーサン主体 383,002円
チモシー主体 363,682円

<作業工程>

- 1.スプレーヤー(除草剤散布)
- 2.プラウ(起土)
- 3.デスクハロー(砕土)
- 4.ブロードキャスター(土改材散布)
- 5.デスクハロー(整地)
- 6.ロータリーハロー(整地仕上げ)
- 7.ローラー(鎮圧)
- 8.ブロードキャスター(播種)
- 9.ローラー(鎮圧)

・ルーサンの根長による越冬判断(根長5cm以上)

	測定値	判定
完全更新チモシー主体草地	6.2cm	○
完全更新ルーサン主体草地	6.6cm	○
簡易更新チモシー主体草地	4.7cm	×

簡易更新の1ha当り費用(税込み)
チモシー主体 304,238円

<作業工程>

- 1.スプレーヤー(除草剤散布)
- 2.ブロードキャスター(土改材散布)
- 3.ロータリーハロー(表層攪拌)
- 4.ローラー(鎮圧)
- 5.ブロードキャスター(播種)
- 6.ローラー(鎮圧)

●完全更新草地
(小原牧場)



プラウ反転(小原牧場)

更新前に雑草処理を行ったにも拘らず、今年の天候の影響もあり、雑草が繁茂したことから9月15日に掃除刈りを行ったため、草丈・根長は短めでありましたが、10月4日に実施した越冬前の生育状況調査において、チモシーの越冬判断基準(0.3m×0.2mの枠内

に30株以上)とルーサンの越冬判断基準(根長5cm以上)を満たしており良好な生育状況でした。

●簡易更新
(共和牧場)



ロータリー表層攪拌(共和牧場)

更新前に雑草処理を行ったにも拘わらず、前植生以上に雑草が繁茂する結果となつてしまい、9月10日に掃除刈りを行いました。

それでも雑草が非常に多く、チモシー・ルーサンの生育が阻害されており、10月4日に実施した越冬前の生育状況調査においても、越冬が厳しい状態でありました。簡易更新において、今回のように雑草が多い草地については、除草剤散布後、表層攪拌し播種するのではなく除草剤の同日処理を行った方が効果が期待できたと考えられます。

2年目以降の調査については、完全更新と簡易更新での越冬性の確認、収量の違いの確認、施工方法の違いによる土壌中の成分等の違いの確認、給与時の嗜好性・乳量・乳

成分等の違いを確認し、実証結果を組合員に報告いたします。



発芽の様子



生育調査の様子

わが家のアイドル

家族でゆつくり旅行に行きたい

今月のアイドルは中春別地区の小幡さんのお宅を訪問し、当日は寒い風が吹く中、わんちゃんや牛の隣で仲良く撮影に応じてくれました。

長男の銀我くんはサッカーを頑張る小学4年生の男子。別海の少年団に入団し、

去年の5月から仲間と汗を流し練習しています。サッカーを始めたきっかけは「アニ



中春別地区 なると
父・小幡 直人さん
母・真希さん
長男・銀我くん(9歳)
長女・ゆんちゃん(6歳)
二男・銀士くん(2歳)

メの「いなずまイレブン」を見てやりたくなつたから」とのこと。「前は学校の休み時間にサッカーが出来たけど、今はできなくなつた」と残念そうに話す銀我くんですが、学校が終わると別海までお爺ちゃんに送つてもらい思う存分に練習してい

ます。

年長さんのゆんちゃんはお喋りが大好きな女の子。当日は写真撮影に快く応じてくれ、「おとなしいんだよ」と子牛をなでて見せてくれたり、猫や犬の名前を銀我くんと一緒に教えてくれました。動物が好きで、保育園から帰ると牛舎に行き猫にエサをあげたり、寝ている牛の背中に乗り遊んでいます。牛もそんなゆんちゃんに驚くことなく慣れてしまつている様子。「お兄ちゃんがいる時にはサッカーで遊んでるよ」と話してくれました。

家族の中で一番元気なのが2歳の銀士くん。やんちゃ盛りで米びつに洗剤をいれたり、コーヒーや牛乳をまき散らしたり、牛舎ではうんちまみれになつたりといたずらつ子で、来年からは保育園に行きたいと、



話すお母さんの真希さんに子供たちの名前の由来をお聞きしました。銀我くんは「銀」、自分をしっかりと持った人になつてほしいので「我」。ゆんちゃんは響きが良く、ありそうでない名前をつけました。銀士くんはお兄ちゃんと同じく「銀」とつけ、名前の響きから良い字画の「土」を選び、最後には「人」とのつながりを大事にしていてほしいです」と子供たちへ両親の想いをお聞きすることができました。当日は取材のご協力ありがとうございました。

営農対策情報

根室農業改良普及センター

子牛の寒さ対策は万全ですか

これからの時期は気温が低下し、夜間は冷え込みが厳しくなります。寒さや極端な温度変化は牛にストレスを与えます。特に子牛は寒さの影響を受けやすく、「寒さ対策の優先順位が高い」と言えます。

子牛の飼養環境について再確認し、寒冷ストレスによる成育のロスを減らしましょう。

1. 子牛が寒さを感じる時

○体に冷風があたる(そのとき、牛体が濡れている)
体に冷たい風があたると体温が奪われます。牛体が濡れている場合は気化熱の影響が大きくなり、体温のロスがさらに多くなります。また、被毛が寝た状態になるため、体表面に空気を含むことが出来ずに断熱効果が低下します。

○冷たいものに触れる、冷たいものが近くにある
金属やコンクリートなどの冷たくなり易い素材(FRP製のカーフハッチなど)も意外と冷たくなり易い)がある場合、直接触れたり、その近くにいるだけで寒さを感じます。

2. 寒さ対策の基本

寒さ対策は次のことが基本になります。

- 冷風を体に直接あてない
- 体を濡らさない
- 冷たいものに触れさせない
- 自分の熱を逃がさない

3. 寒さ対策あれこれ

寒さ対策は農場の施設や管理体制によって様々です。作業性なども考慮して対策を講じましょう。

・敷料を増量することによって保温効果を高める(腹を冷やさないようにする)(写真1)

・敷料の交換回数を増やすことによつて常に乾いた環境をつくる



写真1 豊富な敷料に潜り込む子牛

・段ボールなどで風よけを設けて冷気を遮断する(写真2)

・シートで空間を狭くして熱を逃がさないようにする(写真2)



写真2 ブルーシートや段ボールで囲う

・防寒ベストやネックウォーマーで保温効果を高める(写真3)



写真3 ネックウォーマーで首を冷やさないようにする

・可動式の天井で空間を狭くして熱を逃がさないようにする(写真4)

・遠赤ヒーターなど暖房器具を利用して保温する(写真4)

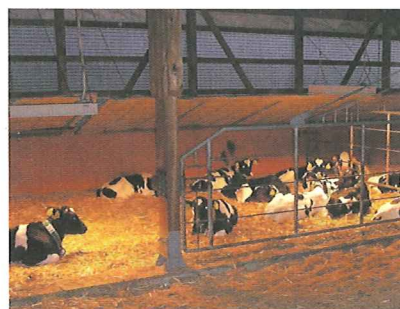


写真4 天井+遠赤ヒーターで寒さ対策

4. 換気も忘れないで!

どのような寒さ対策においても気を付けなければならないのは「換気を妨げない」ことです。冷気を直接牛体にあてないようにしながら湿度や臭気、ほこりを外へ排出することは呼吸器病などの疾病予防の面からも極めて重要です。

冬期間は施設を閉め切りにしがちですが、日中の比較的暖かい時間は施設を開放して換気を十分行うなど、新鮮な空気の確保にも注意を払いましょう。

女性農業者の皆さん、 あなた自身の年金を!

女性農業者の皆さん、老後の備えは万全ですか?

現在65歳の日本人の平均余命は、男性が18.9年(83.9歳)、女性が24.0年(89.0歳)です(厚生労働省「平成21年簡易生命表」より)。女性の老後は男性以上に長い道のりです。

**農業者年金は女性農業者の老後を
しっかりサポートします。**

母さんには母さんの
年金が必要じゃ!

掛けてて良かった
農業者年金!

家族経営協定を結べば、保険料の国庫補助も受けられます!

認定農業者で青色申告をしている夫と家族経営協定を結んで農業経営に参画している妻も保険料の国庫補助が受けられます(月額最高1万円)。

**農業者年金は農業の担い手を
しっかり応援します。**

女性農業者の老後は、国民年金+農業者年金が基本です!

国民年金の支給額は月額最高6万5千7百円、夫婦お二人で13万1千4百円です。一方、高齢農家の家計費は夫婦お二人で23万円が必要になるというデータがあります。

→月額約10万円不足

**農業者年金は国民年金の不足分を
しっかりカバーします。**

農業者年金へのご加入がご主人だけでは、先にご主人が亡くなった時、妻であるあなたの老後の支えは国民年金だけになってしまいます。



農業者年金のその他のメリット

- 少子・高齢時代に強い積立方式の年金。
- 保険料の額は月額2万円～6万7千円の間で千円単位で自由に設定・増減が可能。
- 一生涯受け取ることができる終身年金。80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までの保証付き。
- 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象(民間の個人年金(生命保険料控除)では5万円が限度)。

お問い合わせは地元の農業委員会、JAにおたずねください。

独立行政法人 農業者年金基金

〒105-8010 東京都港区西新橋1-6-21 NBF虎ノ門ビル5階 TEL03-3502-3942 (企画調整室)

老後の備えは、
農業者年金
で安心!

農 業 者 年 金

制 度 の ポ イ ン ト

女性の加入者も
増えています！

① 農業者の方なら広く加入できます

60歳未満の国民年金第1号被保険者であって年間60日以上農業に従事している方であれば、男女の区別なく誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます。

② 少子高齢時代に強い積立方式(確定拠出型)の年金です

自ら積み立てた保険料とその運用益(付利)により将来受け取る年金額が決まる「積立方式(確定拠出型)」の年金ですので、少子高齢化が進んでも制度の安定性は損なわれません。

(注)運用の結果得られる年金原資が、積み立てた保険料の総額を下回らないという保証はありませんが、安全性を重視した運用方法や、65歳の年金裁定時に運用収入の累計額ができるだけマイナスとならないようにする準備金の仕組み等を導入しています。

③ 保険料額は自由(月額2万円～6万7千円)に設定・増減が可能です

保険料は、加入者自らが必要とする年金額の目標に向けて自由に決められ(月額2万円～6万7千円の間で千円単位)、経営の状況や老後設計に合わせていつでも見直すことができます。

④ 終身年金で80歳までの保証付きです

農業者老齢年金は、原則65歳から生涯受け取ることができます。

仮に80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額を、ご遺族に死亡一時金として支給します。

⑤ 税制面で大きな優遇措置があります

支払った保険料は、**全額(1人当たり最高年額80万4千円)が社会保険料控除の対象**となり、所得税・住民税が節税になります**(支払った保険料の15%～30%程度が節税)**。

保険料を農業者年金基金が運用して得られる**収益(運用益)は非課税**です。

将来受け取る農業者年金には**公的年金等控除が適用**されます(65歳以上の方は公的年金等の合計額が120万円までは非課税)。

⑥ 認定農業者など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助があります

認定農業者で青色申告をしている方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助**(月額最高1万円、通算すると最大で216万円)**があります。

この国庫補助額に見合う年金は、農地等の経営継承をすれば原則65歳から**特例付加年金として受給**できます。農地等の経営継承の時期についての年齢制限はなく、本人の体力などに応じて受給の時期を決められます。

☆農業者年金に加入すれば ～年金額の試算～☆

加入年齢	納付期間	保険料月額2万円の場合		保険料月額3万円の場合	
		男性	女性	男性	女性
20歳	40年	89万円	77万円	134万円	116万円
30歳	30年	59万円	51万円	88万円	76万円
40歳	20年	35万円	30万円	52万円	45万円
50歳	10年	15万円	13万円	23万円	20万円

※ この試算は、65歳までの付利率が2.30%、65歳以降の予定利率が1.40%となった場合の試算です。
付利率2.30%は農業者年金において期待される運用収益をもとに設定した率、予定利率1.40%は農林水産省告示(H23.4.1 施行)により定められている率です。

(H23.6)

ホルスタイン写真コンテスト結果発表

乳牛改良同志会(山田博和会長)主催で行いました第24回写真コンテスト予想投票は、60人の応募がありました。

序列付けを美原地区の畠山吉男さんをお願いし、**正解はA→D→F→B→C→Eとなりました。ベストアダーはD号となりました。**

全問正解はいませんでした。抽選の結果、中西涼真さん、高倉仁司さん、小川貴史さん、真部更紗さん、渥美和哉さん、藤野雅俊さん、佐井あゆみさん、小滝知香さん、佐々木良介さん、木村愛梨さんに賞品を贈呈致しますので畜産販売課畜産指導係までおこし下さい。

講評

序列付けなど不得手であり、たまに挑戦しても「大ハズレ」する私にとっては難題でした。識者の方のように各部位の比較検討による序列付けは行えませんので「見た・感」による序列付けとなったことをお許しください。

講評とはいきませんが、それぞれに惹かれるところを記してみます。

2歳クラス、6頭の序列はA-D-F-B-C-Eの順番にさせて頂きました。トップに致しましたA牛ですが、

6頭の中で一番体のフレームがしっかりしていて、2歳級らしい牛だと思います。2番目のD牛よりも前駆から中駆にかけての長さ、前乳頭の向きについてもA牛の方が正確な点からトップに致しました。

次にD牛とF牛の比較ですが、D牛のほうがよりスタイリッシュで首抜けの良さ、乳器においても前乳房の付着、乳房底面の高さも6頭の中でD牛の方が上回っていることからD牛にベストアダーをつけたいと思います。

次にF牛とB牛の比較ですが、体全体の長さ、肋のハリについてもF牛の方が上回っていることから、F牛を3番目と致しました。

次にB牛とC牛の比較ですが、B牛のほうが腰角と座骨の位置関係、乳用性の特質において上回っていることから、B牛を4番目に致しました。

次にC牛とE牛の比較ですが、C牛の方が背線の強さ、前駆の強さにおいてE牛より上回っていることから、C牛を5番目に致しました。

今回は、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

1位A



2位D (ベストアダー)



3位F



4位B

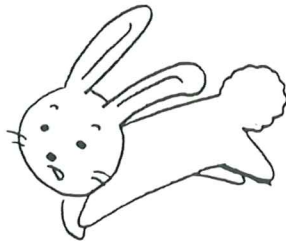


5位C



6位E





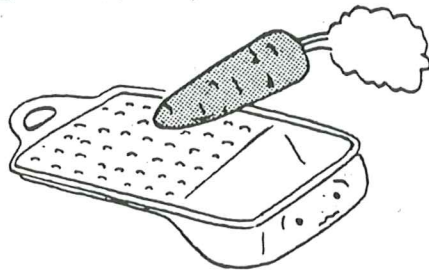
にんじんの おまんじゅう

蒸しパンミックス 3~3.5 カップ
 牛乳 85cc
 にんじん 40g
 あん 360g



1

蒸しパンミックスはふるって
 おく。人参はすりおろしておく。



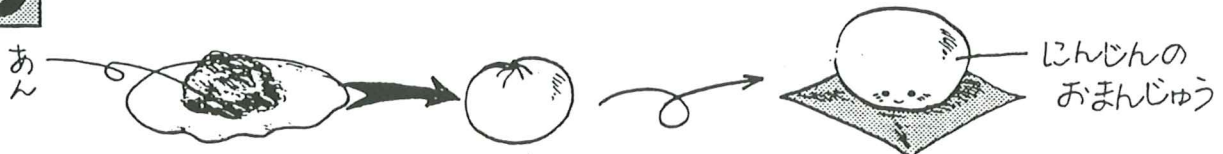
2

蒸しパンミックスとすりおろした
 人参、牛乳を混ぜ合わせ皮をつくる。



3

2を12等分して、それぞれにあんを包み 6~8分蒸す。



牛乳を飲むとおなかがゴロゴロ。どうしてかな？*****

◎ どうも牛乳はニガ手

健康と成長には欠かせない栄養成分が豊富に、そしてバランスよく含まれている牛乳。毎日の食卓に欠かせない栄養食品のひとつです。ところが牛乳は、どうも苦手、という人がいます。カラダが拒否反応を示してしまうのです。たとえば、牛乳を飲むとおなかがゴロゴロ鳴る、おなかが張る、ときには下痢をしてしまいます。

◎ 乳糖とラクターゼ

日本人には、そういう人が10%くらいいるといわれています。これはおもに、牛乳中に含まれている乳糖を腸の中で消化する力が弱いために起こります。通常であれば、乳糖は小腸でラクターゼ(乳糖加水分解酵素)によって分解されて吸収されるのですが、「牛乳苦手派」の人は、このラクターゼの働きが鈍く、その間に乳糖が腸内で発酵し、炭酸ガスや有機酸を生成してしまうのです。これが「おなかゴロゴロ」の原因です。

中春別小学校6年生 「松隈梨乃さん」が「金賞受賞」



J A 共済連北海道では平成23年度全道小・中学生交通安全ポスターコンクール表彰式が10月29日に札幌全日空ホテルで行われ、道内小学校119校の参加、2,605点の応募の中から見事金賞を受賞しました。

「表彰式は緊張しました」と話す梨乃さん。絵は授業で描いたり学級のポスターを描いたりする程度ですが、ポスターを書いた時は色をたくさん使うようにしました」と話してくれました。

松隈さんが描いた作品はポスターとなり金融の掲示板に掲示しております。



たくさんの牛が 我が家へと帰りました

中春別共和牧場下牧

10月31日、共和育成牧場にて育成されていた牛の下牧が行われ、今年の春に入牧された牛たちが共和育成牧場で約5カ月飼育され、入牧当初やんちゃだった牛たちも立派に育ちそれぞれの牧場へと帰って行きました。下牧のため集められた牛たちは、迎えにきた家畜車に手際よく乗せられていましたが、中には広い草地を離れるのが嫌なのか、作業を手こずらせる牛もいました。家畜車から家路への風景をみつめ帰っていく牛の姿を皆で送り出し、下牧終了となりました。ひとまわりもふたまわりも大きくなった牛たちは飼い主の元でこれから力強い妊娠牛として成長することと思います。皆さまおつかれさまでした。



退職のご挨拶

丹羽 博子



この度、10月31日をもちまして退職致しました。

昭和47年に旧根釧パイロットファーム開拓農協に採用していただき、39年4カ月にわたり勤務してこれたのも、組合員の皆様のあたたかい励ましに支えられてきたものと深く感謝しております。

思い返せば、合併・再建整備農協等々、波瀾万丈な出来事もたくさんありました。そんな中、微力ながら一女子職員として組合員のために出来ることは最大限に努力してきたつもりです。そして、この組合の歴史とともに自分の人生の年輪もきざませていただいたことを誇りに思います。

社会情勢をみますと、震災の影響、TPPの問題等々、私達は様々なことに立ち向かっていけるこの時が人生を切り開くチャンスであると思います。

最後に、当組合の発展と、組合員役職員の皆様の御健康と御繁栄を心よりお祈り申し上げます。



平成23年11月30日現在

生乳課情報

生乳汚染事故を無くそう!

- 抗生物質混入事故……JA中春別発生件数 1件 管内では 5件の発生です。
- 生菌による汚染事故…JA中春別発生件数 0件 管内では 0件です。
- 異物混入、異臭、加水による汚染事故…JA中春別発生件数 0件です。
管内では 0件です。

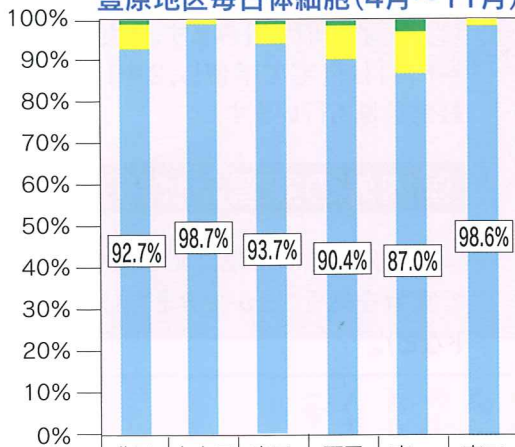
厳冬期の生乳細菌対策は大丈夫ですか？

○ミルカー、バルクの洗浄水温度は適正ですか？

○牛体、牛床の管理はされていますか？

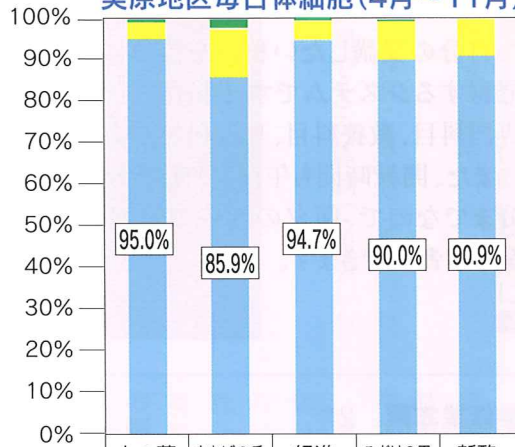
○衛生的な搾乳作業で、きれいで良質な牛乳を！

豊原地区毎日々体細胞(4月～11月)



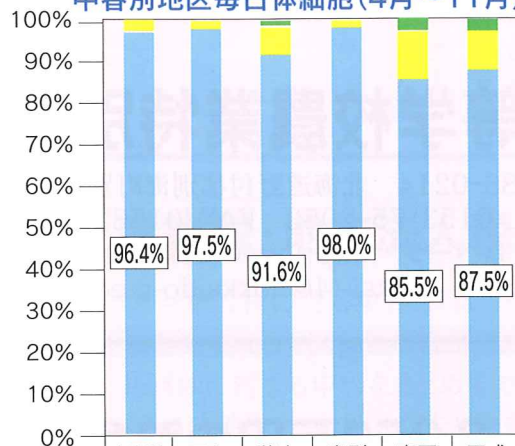
50.5万以上	0.3%	0.1%	0.2%	0.3%	0.2%	0.0%
40.5～50.4	1.0%	0.1%	1.2%	1.2%	2.8%	0.1%
30.5～40.4	6.0%	1.1%	4.9%	8.1%	10.0%	1.3%
30.4万以下	92.7%	98.7%	93.7%	90.4%	87.0%	98.6%

美原地区毎日々体細胞(4月～11月)



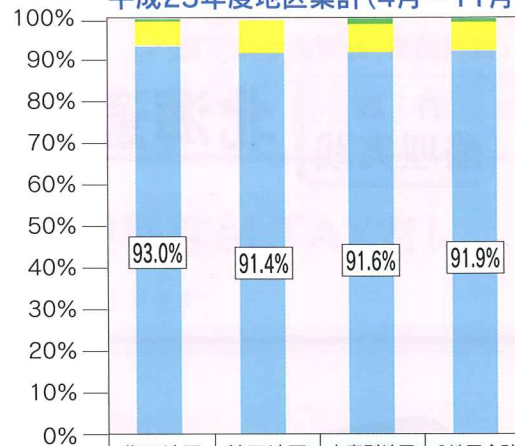
50.5万以上	0.2%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%
40.5～50.4	0.8%	2.4%	0.8%	0.5%	0.9%
30.5～40.4	4.0%	11.5%	4.3%	9.5%	8.2%
30.4万以下	95.0%	85.9%	94.7%	90.0%	90.9%

中春別地区毎日々体細胞(4月～11月)

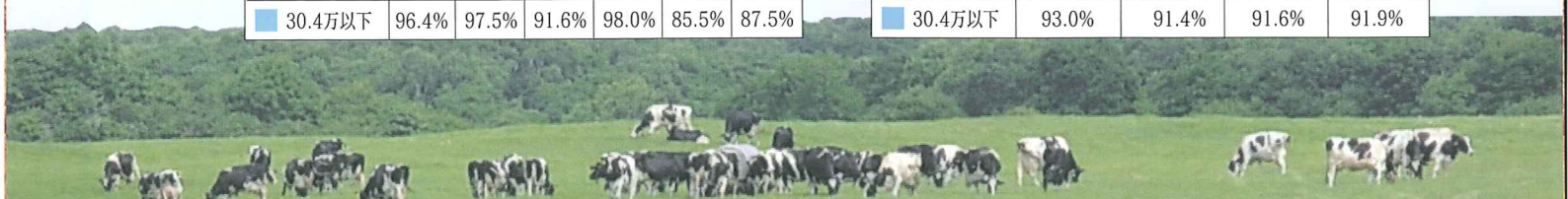


50.5万以上	0.0%	0.1%	0.4%	0.2%	0.4%	0.5%
40.5～50.4	0.5%	0.3%	1.5%	0.0%	2.4%	2.2%
30.5～40.4	3.1%	2.1%	6.5%	1.8%	11.7%	9.8%
30.4万以下	96.4%	97.5%	91.6%	98.0%	85.5%	87.5%

平成23年度地区集計(4月～11月)



50.5万以上	0.2%	0.1%	0.3%	0.2%
40.5～50.4	1.2%	0.9%	1.4%	1.2%
30.5～40.4	5.6%	7.6%	6.7%	6.7%
30.4万以下	93.0%	91.4%	91.6%	91.9%



平成24年度 学生募集案内

働きながら学んで、同じ夢を持つ仲間をつくろう!

専攻科とは？

専攻科は、高等学校を卒業した農業後継者や実習生が農業に従事しながら経営や技術を学び、仲間づくりをすることです。

単位制の導入で学びたい科目が学習できます

自分の受講したい科目を自由に選択して単位を修得するシステムです。開講科目は、酪農に関する専門科目、教養科目、専攻科目があります。

また、開校時間も午前10時45分から午後2時30分までなので、朝夕の乳牛の管理作業に従事しながら学習ができます。

先端技術に対応した学習を実施しています

コンピュータを用いた経営管理などを取り入れた実践的学習ができます。

自家の経営に結びついた学習に取り組めます

草地、または乳牛に関する学習をゼミナールごとに分かれて取り組みます。また、夏季の農繁期(6月～8月)は自宅で学習し、2年目には農業簿記による経営診断も行います。

国内外の実習が体験できます

在学2年目に希望に応じた条件(地域・規模など)で実習を行うことができます(国内、ニュージーランドなど)。

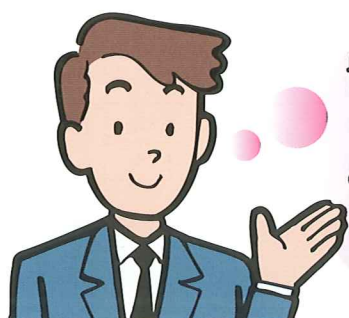
- 修業年限 2年
- 募集学科 農業特別専攻科(酪農経営科)
- 出願期間 平成24年1月16日(月)午前9時から平成24年1月27日(金)正午まで(土曜日及び日曜日を除く)。
- 検査日 平成24年2月8日(火)午前9時
- 出願資格 高等学校を卒業した者、若しくは平成24年3月末日までに高等学校卒業見込みの者で、酪農作業に従事しながら本校に通学可能な者(寮はありません)。
- 願書配付 平成23年12月5日(月)から

資料請求、お問合せは下記へ

科 訓
酪 理 実 践

北海道別海高等学校農業特別専攻科

〒086-0214 北海道野付郡別海町別海緑町70-1
TEL(0153)75-2053 FAX(0153)75-2263
ホームページ <http://www.bekkai.hokkaido-c.ed.jp>
E-mail bekkai-t4@hokkaido-c.ed.jp



皆様のご協力
ありがとうございます
ございました

金融共済課からの
お知らせ

8,350万円の貯金額を達成

10月17、18日の2日間実施しました一日皆貯金におきまして、皆様のご協力により8,350万円の貯金額を達成することができました。

ご協力いただきました皆様方には心よりお礼申し上げますとともに、今後も皆様の生活のお役に立てる「Jバンク」として頑張りますので、宜しくお願い致します。

北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

●【専攻科】酪農経営管理学実施

酪農経営を学ぶために、基礎となる複式簿記を学習しています。[45回予定]内容は「台帳整理」「期首貸借対照表作成」・「仕訳」・「元帳」・「繰越決算」・「期



末貸借対照表・損益計算書作成」等です。学生達は牛舎での仕事を自家で毎日研鑽していますが、経営に関してはなかなか勉強できる機会が少ないと思います。そこで、1年目学生は専攻科で、「酪農経営管理学」という教科で学んでいます。「複式簿記」を本格的に学んだ学生は少ないので、ほとんどの学生は一からのスタートです。

電卓を用いての単調な計算が多く、また、昼食後の授業ということもあり、眠気を差すこともしばしばありますが、そういう時でも、気分転換の雑談をしたり(こっちのほう盛り上がることもあり)、眠い目をこすりながら皆頑張っています。

前半の15回が終了し学生達からは、「言葉が専門的で、覚えるのが大変」「様々な計算方法があり、どれもが難しかったが、将来は自分の家の台帳も作成できるようにしたい」「耐用年数や減価償却に関する法律等も学ぶことが出来、今後の力になりました」等の感想がありました。今後、授業内で手書き記帳の流れを学んだのち、経営ソフトを用いての台帳作成、仕訳作業も予定しています。将来学生達が経営者になった時に、役立てばという思いで授業を行っています。(12月下旬まで実施予定) 【文責:菊地】

●【専攻科】“あ・ら・かると”交流会参加!

11月11日(金)根室農業改良普及センターで、ねむろ農村女性グループネットワーク協議会主催の“あ・ら・かると”交流会が行われました。

交流会の中で専攻科2年目学生の浜野君が研究している「燻製ゴータチーズ」について紹介し、たくさんの方々へ食味調査の協力をいただきました。また、午前中に行われた講演には本校の酪農経営科3年生9人も参加し、別海町の観光について学びました。生徒たちは終始熱心にメモをとり聞き入っていました。 【文責:加瀬】



●【経営科】酪農研修(1年)を実施!

10月20日(木)、酪農経営科1年生を対象に、別海町酪農研修牧場で酪農研修が行われました。春に続いて2回目の実施で、カウコンフォートや牛舎の清掃管理、体測について学習を深めました。 【文責:藤井】



●【経営科】苗作り(1年)を実施!

10月25日(火)、酪農経営科1年生を対象に、釧路開発建設部と(株)森林環境アライズの指導の下、苗作り大作戦が行われました。この事業は別海町に自生している樹木の種子(ななかまど・オニぐるみ・ほざきしもつけ など)を播種し、育成2年後の夏に植樹するという事業の一部です。生徒からは「別海にある樹が、こういう作業をしてから植えられているのを初めて知った。」との感想もあり、充実した事業となりました。 【文責:八重樫】



●【経営科】農ク全国大会、3人入賞!

10月26日(水)、27日(木)に長崎県で開催された農業クラブ全国大会に本校から4人が出場し、本校初となる3人同時入賞の快挙を成し遂げました。

結果は、次のとおりです。

【農業鑑定競技(畜産)】

小熊 俊博(3年)優秀賞 水本 恵(1年)出場

【家畜審査競技(肉牛)】

鈴木英里佳(3年)優秀賞 伊藤沙織(2年)優秀賞

【文責:藤井】



●【経営科】どんぐり教室(1年)を実施!



「ちいさな手で、おおきな森を」を合い言葉にどんぐり教室が10月28日(金)に行われました。酪農経営科1年生18人と愛光幼稚園の園児(年中・年長22名)が手を取り合い、「どうやって(種を)おくの?」「いつ芽が出るの?」と、寒い中でも元気いっぱい播種をしている園児の姿に高校生が元気をもらう場面もありました。このどんぐりの苗木は、ある程度大きくなってから、植樹活動に使用される予定で、将来は別海の森の一部になる予定です。 【文責:八重樫】

平成23年度 年末・年始の業務日程表

休業

日 程 区 分	平成23年			平成24年						
	12/30(金)	12/31(土)	1/1(日)	1/2(月)	1/3(火)	1/4(水)	1/5(木)	1/6(金)	1/7(土)	
事務所(除く信用)	午前中のみ業務									御 用 始
事務所信用窓口	平常業務					平常業務	平常業務	平常業務		
Aコープ中春別	午後3時まで営業			午後3時まで営業			午後3時まで営業			
給油所	午後3時まで営業 (給油・配送)			午前9時~午後3時 まで営業(給油・配送)			午前9時~午後3時 まで営業(給油・配送)			
倉庫	午前中のみ営業					平常営業		平常営業		
訪問介護事業所 「あさひな」	平常業務	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	
人工授精	平常業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	
共和育成牧場	(家畜管理業務のみ)									
生乳	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	平常業務	平常業務	平常業務		

中春別マシンセンター	午前中のみ営業							午前中のみ営業	午前中のみ営業	御用始
------------	---------	--	--	--	--	--	--	---------	---------	-----

※農業機械・車両整備の連絡先 佐藤専務宅76-2475 土屋工場長宅76-2466

働ジェイエーワンプ	午前中のみ営業									御用始
-----------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	-----

※作業依頼の連絡先 猿谷専務宅76-2076
久保山課長(携帯)090-1529-9846

ATM稼働日について

当JA 12/31(土)~1/3(火)休業
近隣JAでは、JA中標津あるが12/31稼働
銀行・郵貯・セブン銀行は12/31稼働
1/1~1/3はJAシステム完全停止日
1/4から平常営業

- ◎販売関連業務 (1)初生トク・素牛集荷
年内最終集荷12月30日 年明集荷1月6日
(2)哺育・育成集荷
年内最終集荷12月30日 年明集荷1月7日
(3)ホクレン市場
最終開催日12月28日(初生のみ) 年明開催日1月11日

◎人工授精業務 午前中のみ業務、午後から休業

◎緊急時の連絡先

- (1)停電 北電72-2010
(2)除雪 中西課長宅76-2663、福島次長宅76-2157
(3)給油 (緊急携帯)郡司係長080-6090-2923
(4)飼料等配送 (緊急携帯)別海貨物(山口)090-5072-3954
(5)生乳検査 平間係長宅0153-86-2130(緊急携帯)090-2076-4014、中西課長宅76-2663
(6)夜間バルク抗生物質検査 (緊急携帯)090-2076-4014
(7)FAX故障 濱野担当080-5582-9626
(8)その他 高市課長宅78-9632、登部長宅75-0517

JA中春別酪農ヘルパー利用組合年末年始業務日程

- 休業 12月31日(夕)~1月4日(朝)
- 業務開始 1月4日(夕)から通常業務開始
- 緊急ヘルパー受付

★農協営業日 営農振興課 電話76-2241番
★農協休業日 高野課長 携帯電話 090-9515-0264
相澤係長 携帯電話 090-8900-9356

議案

1. 平成23年度半期ディスクロージャー誌による開示について
2. 年末年始の業務日程について
3. 固定資産の除却について
4. 諸規程の改正・新設について
5. 平成23営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更について

報告事項

1. 組合員の脱退予告について
2. 職員の退職について
3. 平成24年度新規採用職員の条件付内定について
4. 固定資産実査の終了について
5. 平成23年度9月末定期監査報告書について
6. 平成23年度9月末子会社の監査報告書について
7. JAバンク2011ラストWチャンスキャンペーンの実施について
8. 個人連帯保証にかかる監督指針の改正に伴う今後の対応について
9. 平成23年度10月末営農生産関連実績について
10. 平成23年度草地生産性向上対策事業に係る実績について
11. 平成23年度糞尿利活用草地整備改良事業に係る実績について
12. 平成23年度酪農環境負荷軽減支援対策事業に係る奨励金交付について
13. 平成23年度新規就農者に係る農場リース事業及び農地保有合理化事業の取進めについて
14. 平成23年度良質乳生産乳用牛確保維持対策事業及び育成牛確保維持対策事業の希望状況について
15. 乳房炎防除対策研究会報告について
16. 共和育成牧場預託牛の事故に対する互助会規程による見舞金の支払について

協議事項

1. 平成23年根室・釧路管内合同JA役員研修会の参加について

10月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	
乳脂肪分		775.262		30.77	29.91	0.86	
無脂乳固形分		490.241		43.00	41.89	1.11	
補給金		3.7709		3.77	3.68	0.09	
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	306,223,859.0kg	3.73	3.68	0.05
		ランク2	0	5,124,569.8kg			
		ランク3	-3	182,134.3kg			
	体細胞数	ランク1	2	265,585,202.4kg			
		ランク2	1	24,730,585.2kg			
		ランク3	-2	3,551,755.7kg			
合計				81.27	79.16	2.11	

10月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分①	30円77銭	
無脂乳固形分②	43円00銭	
補給金③	3円77銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	3.97%
	農協	4.02%
無脂固形分率	全道	8.77%
	農協	8.75%
成分乳価	全道	77円54銭
①+②+③+④=⑤	農協	77円78銭
乳質乳価⑥	全道	3円73銭
	農協	3円81銭
乳代合計	全道	80円27銭
	農協	81円59銭
⑤+⑥	差異	32銭



ピースです



大介です

楽しい家族と一緒に

尾形さん家のピースくん・大介くん

♂(シュナウザー)5歳 ♂(ブルドック)9歳

美原地区・尾形 春喜さん家

★飼い始めたきっかけ

ペットショップで一目惚れしたので連れて帰りました。

★名前の由来

ピースは白かったので白クマのピースから名前をとってつけました。
大介は変な名前をつけたかったので人間らしい名前をつけました。

★好きなこと(もの)はなんですか？

ピース何でも咬むのでおもちゃをあげるとすぐにボロボロにしてしまいます。食べ物も何でも食べてしまい、ご飯のときはテーブルの下でご飯をもらえるのをまっています。大介は昼寝が好きで一日中寝ています。牛と戯れたりするのが好きで、寝転がっている牛の体や顔をなめたりします。

★得意技 人の言うことがわかり、「留守番だよ!」というと家の中へ戻っていきます。

編集後記

▼今年も残すところあと半月。振り返れば今年もいろいろな出来事があり3月に東北地方を襲った太平洋沖地震の影響は今も続き、あの時テレビで流れた津波の映像は忘れられません。

▼TPP問題では国民的な議論もないまま交渉参加を断念しなかったことに対し、不安な気持ちのまま抗議が続いている現状であり、私たちもJAグループの一員として引き続きTPP交渉参加阻止に向けた運動に取り組んでおります。

▼また、いいニュースではタイガーマスク運動、女子W杯でなでしこジャパンが初優勝を飾り、身近なところではTVのお見合い企画が話題となりました。来年もいい年でありますようにお祈り申し上げます。

▼忘年会シーズンとなりました。忘年会やクリスマス、大晦日、お正月、みんなで集まりおいしいものを囲む機会が増えますね。ごちそうを囲み楽しい時間を過ごすとつい食べ過ぎ、飲みすぎになってしまうことはよくある話です。暴飲、暴食には十分に気をつけましょう。